

かほく

# ワークシート

## 問題

- ① 遺伝子情報を解析された人骨の縄文人女性は、今から約何年から何年前に生きていたと考えられていますか。

約（                      ）年前

- ② 今回の調査でこの縄文人女性の祖先は中国大陸の漢民族の祖先と同じであったことも分かりましたが、他に遺伝的に近いのはどの地域に住んでいる人々でしょうか。

(小学6年、中学校／朝の会、社会科)

出題者から

遺伝子情報からこれまで分らなかったことが解明されるようになってきましたが、縄文人の目の色や髪の毛の特徴、食べ物の適性なども分かってしまうなんてすごい技術ですね。私たちの祖先がどこから来てどのように生活していたのか、こうした研究が進むことでさらに明らかになってくることでしょう。(日本新聞協会NIEアドバイザー・宮城県図書館主幹 坂本謙)

# 漢民族と祖先が一緒？

## 縄文人の全ゲノム解析

国立科学博物館などの研究チームは13日、北海道・礼文島の船泊遺跡から発掘された約3500〜3800年前の縄文時代後期の女性人骨から全遺伝子情報(ゲノム)を高精度に解析したと発表した。論文は近く、日本人類学会の英文誌に掲載される。

国立科博の神沢秀明研究員、国立遺伝学研究所の斎藤成也教授らのチームは船泊遺跡で見つかった女性人骨の大臼歯からDNAを採取。保存状態がよく、現代人とほぼ同じ精度でゲノムを解析することができた。

解析の結果、縄文人の祖先は約

## 酒に強く 高脂肪食に適応

1万8000〜3万8000年前に、中国大陸に住む現在の漢民族との共通祖先から分岐したと推定。ロシア極東部から朝鮮半島、台湾の先住民など東アジアの沿岸部の集団と遺伝的に近く、比較的少ない人口集団で狩猟採集

### 国立科博チーム

生活を続けていたことも分かった。

また、この女性の瞳(虹彩)が茶色く、髪の毛が細いなどの外見的特徴や、アルコールへの耐性が強いことなども判明。高脂肪食に適応した遺伝的特徴も持つてお



北海道で出土した縄文女性の頭蓋骨(左)とDNAを使って復元した顔

り、このことは遺跡からアシカなどの骨が多数出土している状況とも一致した。研究チームにはこのほか、札幌医科大学、金沢大、山梨大などの研究者が参加している。

7月21日こども新聞ワークシート模範解答

- ① 遺伝子情報を解析された人骨の縄文人女性は、今から約何年から何年の間に生きていたと考えられていますか。

約（ 3500 ～ 3800 ）年前

- ② また、今回の調査でこの縄文人女性の祖先は、中国大陸の漢民族の祖先と同じであったことも分かりましたが、他に遺伝的に近いのはどの地域に住んでいる人々でしょうか。

ロシア極東部から朝鮮半島、台湾の先住民など東アジアの沿岸部の集団